

5 宮城県沖地震の記録

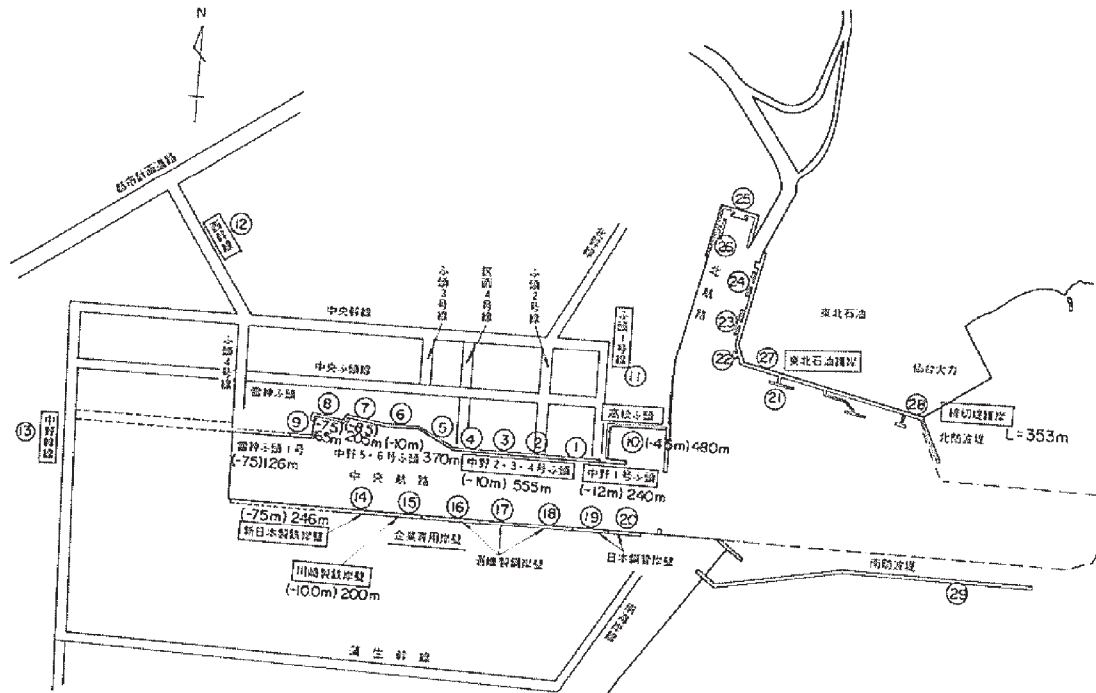
◆ 港湾施設の被害状況

昭和 53 年 6 月 12 日に発生した、宮城県沖地震による県内の港湾施設の被害状況は、塩釜港（仙台港区、塩釜港区）、石巻港、松島港、雄勝港、荻浜港、金華山港の 7 港湾で、外郭施設 11 箇所、係留施設 26 箇所など県全体で 87 箇所、被害総額は約 38 億円にのぼった。

特に石巻港の被害が大きく、岸壁の傾倒、エプロンの陥没に加えて亀裂が発生、その背後の荷捌地についても、随所に陥没と亀裂の被害を受けた。塩釜港をはじめとするその他の港湾でも、エプロンの陥没や亀裂、護岸の損壊や臨港道路の亀裂などの損傷を受けた。

仙台港区の被害状況

地区名	施設名	施工年度 (昭和)	延長 (m)	構造様式	水深 (m)	天端高 (m)	設計 震度	復旧数量	被災内容	番号
中野ふ頭	中野ふ頭1号岸壁	46,47	240.0	鋼矢板式	-12.0	+3.1	0.1	61.4m	エプロン沈下40cm クラック	①
	中野ふ頭2号・3号・ 4号岸壁	47~49	555.0		-10.0	+3.1	0.1	574.65m		②~④
高松ふ頭	高松ふ頭1号岸壁	46~48	48.0		-4.5	-	0.1	-	エプロン沈下 クラック	⑩
中野	ふ頭1号線	-	452.0	アスファルト	-	+3.1	-	68.0m	路面沈下、クラック	⑪
	西幹線	-	376.0					312.0m	路面クラック、路肩崩壊	⑫
	中野幹線	-	2142.0					613.0m		⑬
新日本製鉄	岸壁	51	246.0	鋼矢板式	-7.5	+4.2	0.15	クレーン損傷のみ エプロン補修25.0㎡	エプロン沈下12cm クラック クレーン脚	⑭
川崎製鉄	岸壁	50	200.0	鋼管矢板式	-10.0	+4.2	0.1	クレーン斜梁変形部材補修	排水溝沈下2cm程度 クレーン脚部斜梁の変形	⑮
東北石油	護岸	44~45	1436.7	鋼矢板式	-6.0	+3.5	0.1		クラック、目地部沈下 天端コンクリートクラック	⑰
長浜地区	締切堤護岸	46	353.0	捨石堤	-7.5	+4.0	-	31.85m	水叩部沈下、クラック	⑱



仙台港区平面図

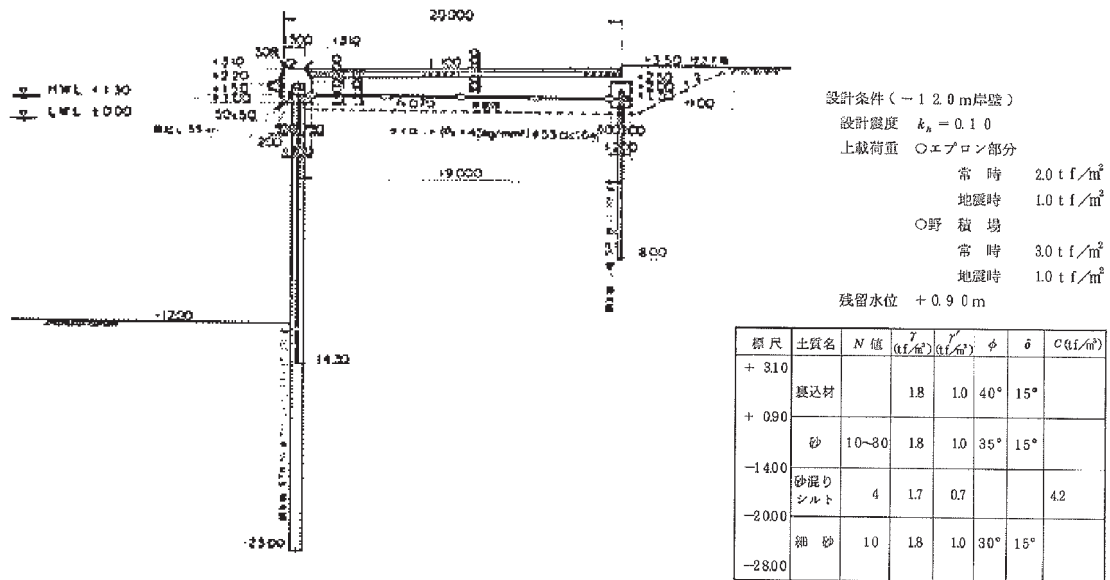
◆ 各施設の被害状況

○ 中野ふ頭1号岸壁（水深12m）（図番①）

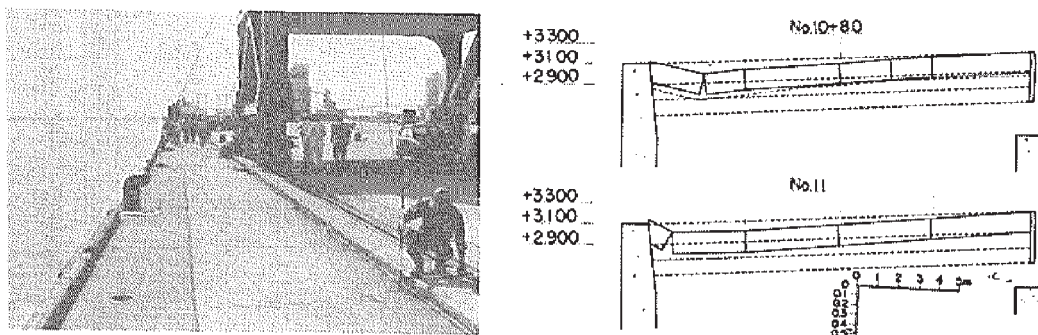
1号岸壁は、鋼管矢板、U型矢板を用いた矢板式構造、エプロン舗装はコンクリート厚さ20.0cm、目地間隔は5.3m×4.5mである。

<被害内容>

- ・エプロンの破損：岸壁取付部、水深4.5m岸壁の接続する隅角部が著しく、最大30cm沈下
- ・荷役機械のレールの沈下：レールの基礎と舗装コンクリート境界に最大約10cm沈下
- ・岸壁背後土砂流出防止鉄板破損：鋼管矢板の海底付近の継目、19箇所が破損



中野ふ頭1号岸壁(水深12.0m)標準断面図



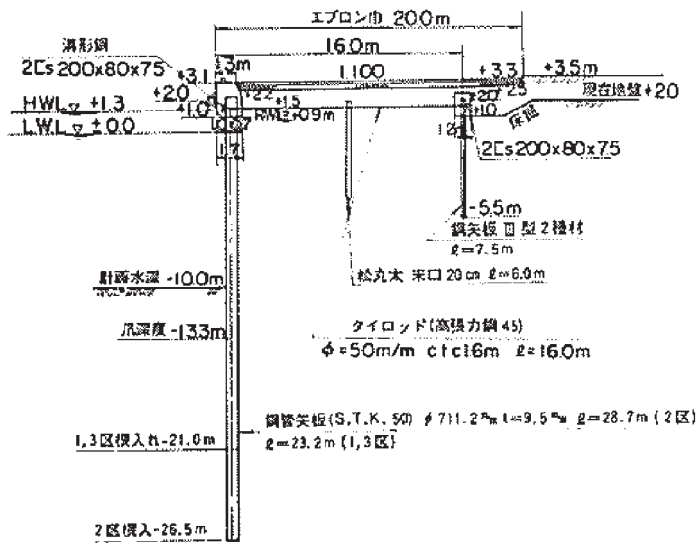
中野ふ頭1号岸壁(水深12.0m)エプロン被害状況写真及び断面図

○ 中野ふ頭 2、3、4号岸壁 (水深 10m) (図番②~④)

2,3,4号岸壁は、鋼管矢板、U型矢板を用いた矢板式構造で、エプロン舗装は2号、3号はコンクリート厚さ 20.0cm、4号は 25.0cm、目地間隔は 5.3m×4.5m である。

<被害内容>

- ・エプロン舗装の破損：ほぼ全延長にわたってクラック、最大約 40cm 沈下
- ・岸壁背後土砂流出防止鉄板破損：鋼管矢板の海底付近の継目、13箇所が破損



設計条件 (中野ふ頭 2, 3号)

設計震度 $k_h = 0.1$

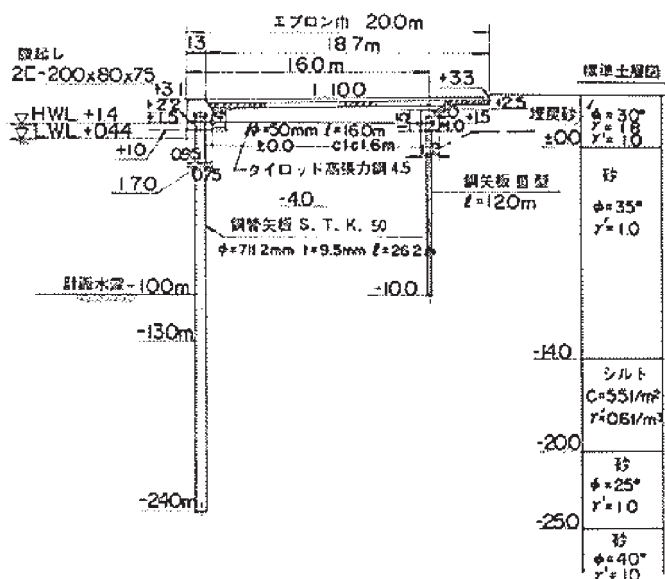
上載荷重 常時 $q=2.0 \text{ tf/m}^2$ エプロン背後 3 tf/m^2
 地震時 $q=1.0 \text{ tf/m}^2$ " 15 tf/m^2

残留水位 +0.9m

土質条件

1.3区 ±0	砂 $\phi=30^\circ$ $\gamma'=1.8 \text{ tf/m}^3$ $\gamma=1.0 \text{ tf/m}^3$	2区	砂 $\phi=30^\circ$ $\gamma'=1.8 \text{ tf/m}^3$ $\gamma=1.0 \text{ tf/m}^3$	±0
	砂 $\phi=35^\circ$ $\gamma'=1.0 \text{ tf/m}^3$		砂 $\phi=35^\circ$ $\gamma'=1.0 \text{ tf/m}^3$	
-15	シルト $C=4 \text{ tf/m}^2$ $\gamma'=0.55 \text{ tf/m}^3$	-15	シルト $C=4 \text{ tf/m}^2$ $\gamma'=0.55 \text{ tf/m}^3$	-15
-19	砂 $\phi=30^\circ$ $\gamma'=1.0 \text{ tf/m}^3$	-19	砂 $\phi=30^\circ$ $\gamma'=1.0 \text{ tf/m}^3$	-19
-26	砂 $\phi=35^\circ$ $\gamma'=1.0 \text{ tf/m}^3$	-26	砂 $\phi=35^\circ$ $\gamma'=1.0 \text{ tf/m}^3$	-26

中野ふ頭 2号、3号岸壁(水深 10.0m)標準断面図



設計条件 (中野ふ頭 4号)

設計震度 $k_h = 0.10$

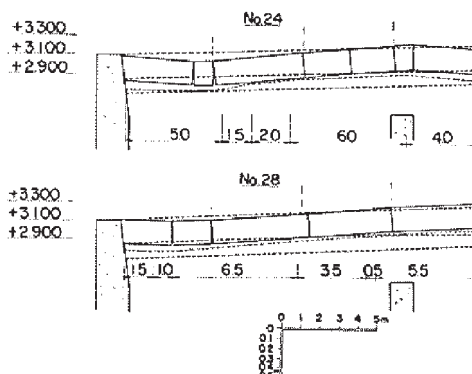
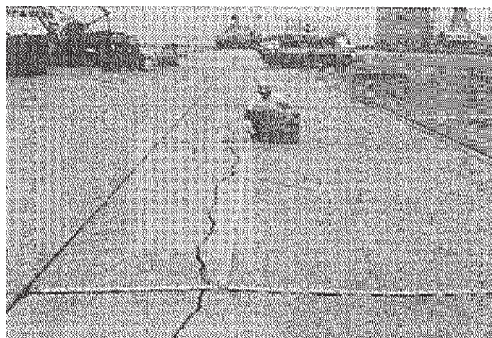
上載荷重 常時 エプロン上 2.0 tf/m^2 背後 3.0 tf/m^2
 地震時 エプロン上 1.0 tf/m^2 背後 2.0 tf/m^2

残留水位 +1.08m

土質条件

$\phi=30^\circ$	$\gamma=1.8 \text{ tf/m}^3$	±0
$\phi=35^\circ$	$\gamma=1.0 \text{ tf/m}^3$	-1.40
$C=5.5 \text{ tf/m}^2$	$\gamma=0.6 \text{ tf/m}^3$	-2.00
$\phi=25^\circ$	$\gamma=1.0 \text{ tf/m}^3$	-2.50
$\phi=40^\circ$	$\gamma=1.0 \text{ tf/m}^3$	

中野ふ頭 4号岸壁(水深 10.0m)標準断面図



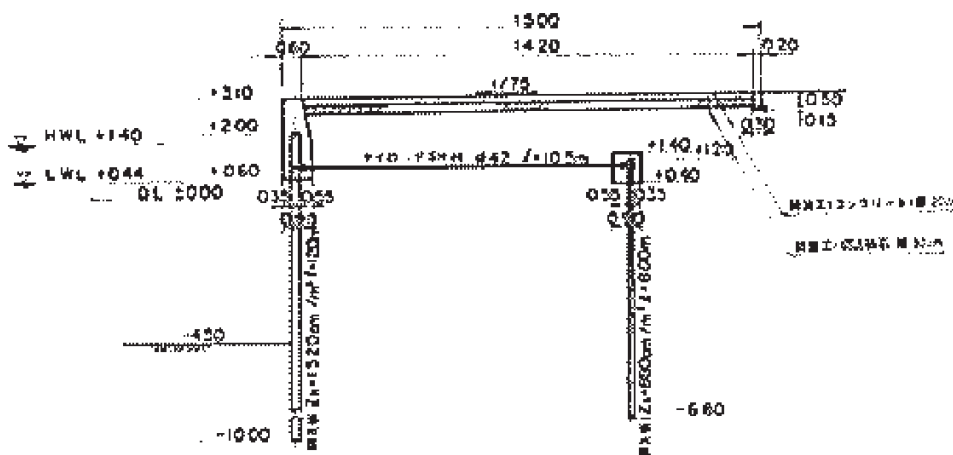
中野ふ頭 2、3、4 号岸壁(水深 10.0m)エプロン被害状況写真及び断面図

○ 高松ふ頭岸壁（水深 4.5m）（図番⑩）

岸壁は鋼管矢板、U 型矢板を用いた矢板式構造で、エプロン舗装はコンクリート厚さ 20.0cm である。

<被害内容>

- ・エプロン舗装の破損：隣接する水深 12m 岸壁との取付部と接する隅角部付近での沈下

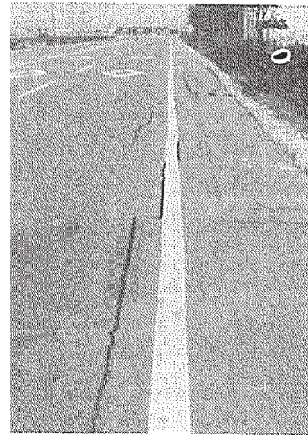


高松ふ頭岸壁(水深 4.5m)標準断面図

○ 臨港道路

<被害内容>

- 1) ふ頭1号線(図番⑪)
沈下：局部的に 20cm 程度、道路端部で約 5cm
クラック：道路端部 68m 区間
- 2) 西幹線(図番⑫)
路肩崩壊：延長 312m
- 3) 中野幹線(図番⑬)
沈下：延長 613m にわたり側溝が 7cm 程度沈下
クラック：道路端部 68m 区間



ふ頭1号線道路のクラック状況

○ 締切堤護岸 (図番⑳)

<被害内容>

水叩部の陥没・沈下・クラック：局部的で小規模



締切堤護岸水叩部のクラック状況

◆ 無被害施設一覧

被害を受けなかった施設は以下の通りである。

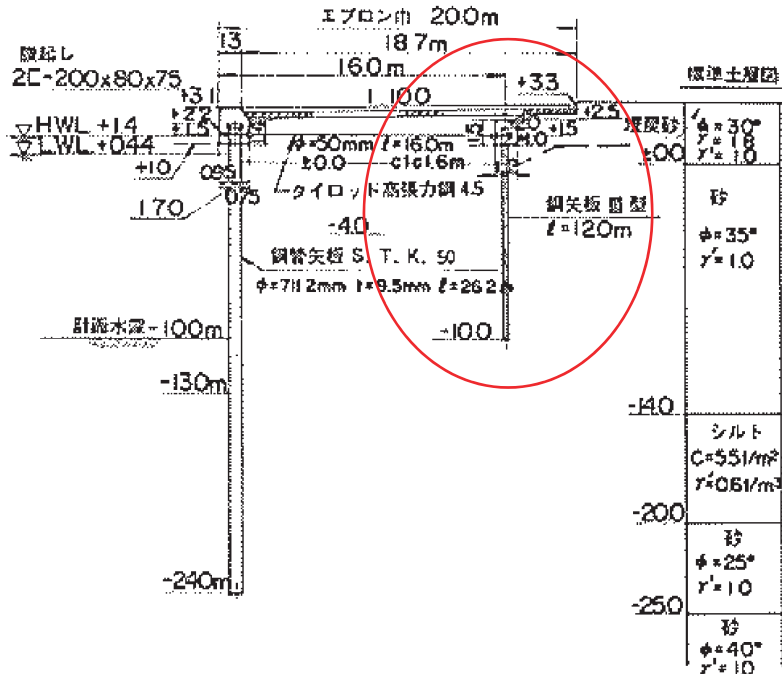
中野ふ頭 5、6号(図番⑤⑥)は、被害を受けた4号岸壁と控え工(組杭方式)が異なっている。また同様に、被害を受けなかったフェリー専用岸壁(図番⑧)、雷神ふ頭1号岸壁(図番⑨)についても、控え工は組杭方式であった。

無被害施設一覧(仙台港区)

地区名	施設名	施工年度 (昭和)	延長 (m)	構造様式	水深 (m)	天端高 (m)	設計震度	番号
中野ふ頭	中野ふ頭5号・6号岸壁	52	370.0	鋼矢板式	-10.0	+3.1	0.1	⑤⑥
フェリーふ頭	フェリー専用岸壁 (第1バース)	50	205.0		-8.5			⑦
	フェリー専用岸壁 (第2バース)	51	165.0		-7.5			⑧
雷神ふ頭	雷神ふ頭1号岸壁	51	126.1		-7.5			⑨
吾婦製鋼	岸壁	未完成	68.0	鋼管矢板式	-7.5	+4.2		⑩
		49	195.0		-10.0			⑪
		49	275.0		-12.0			⑫
日本鋼管	岸壁	49	155.0 190.0		-7.5 -6.2			⑬⑭
東北石油	第1栈橋	46	136.0	ドルフィン	-17.0	+4.0		⑮
	LPG栈橋	48	75.0				⑯	
	第2栈橋	46	40.0				-7.5	⑰
	第3栈橋	46	138.0	横栈橋	-6.0		⑱	
	第4栈橋	47	138.0				⑲	
	第6栈橋	47	60.0				+3.2	⑳
	第7栈橋	48	138.0				+3.5	㉑
		南防波堤	-	1800.0	ケーソン式混成堤		-16.3	+5.0

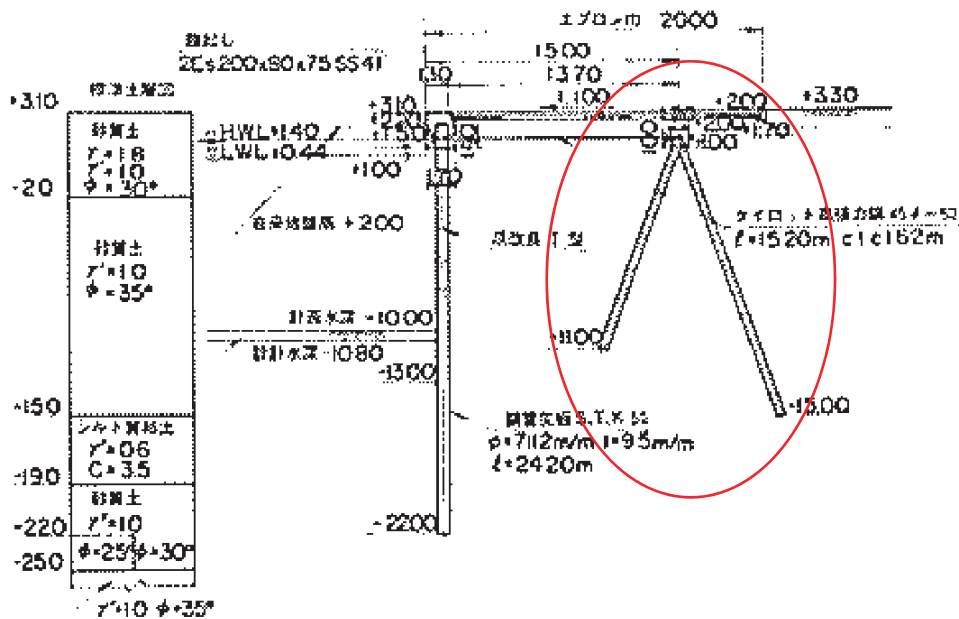
<被害岸壁>

中野ふ頭 4 号岸壁：控え工が直杭方式である。



<無被害岸壁>

中野ふ頭 5 号岸壁：控え工が組杭方式である。



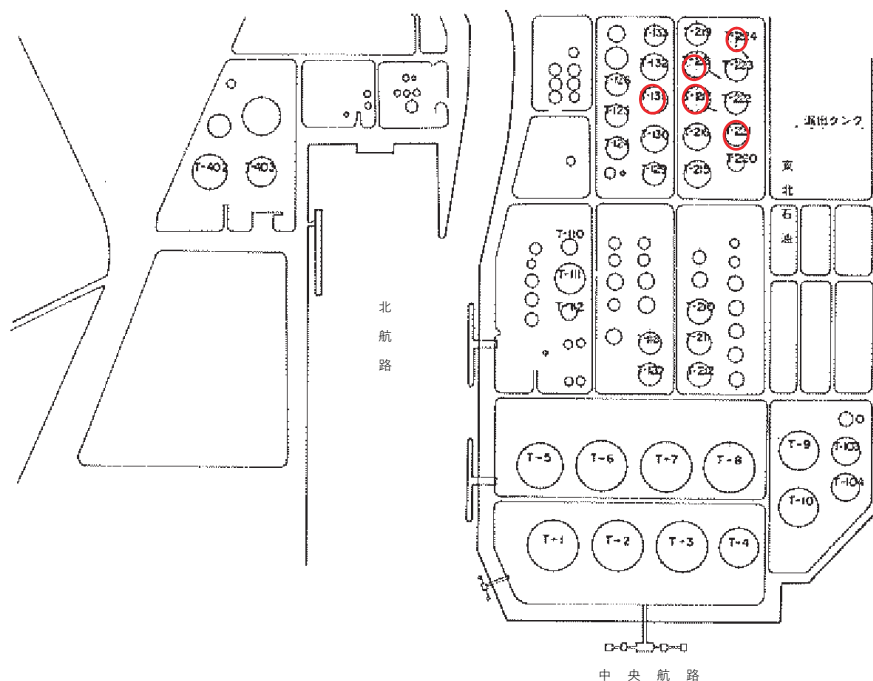
◆ 石油タンクへの被害

東北石油(株) (現 ENEOS(株)) 仙台製油所港内にある重油及び半製品タンクが被害を受けた。亀裂破損した3基のタンクから、重油など約68,000klが流出したうえ、防油堤(高さ1.5m)を越えて港内の道路に溢れでた。流出油は防止堤内(高さ6.0m)に流れ、更に雨水排水溝を流下しガードベースン(最終油水分離装置)にまで至った。

港外海上への流出の危険から、第1次から第7次まで七重のオイルフェンスを展開した。流出油は第2次オイルフェンスで止まり、港外海上への拡散を防止することができた。しかし、その間約2,900klもの油が流出していたとの記録も残っている(第二管区海上保安本部資料)。

石油タンクの被害状況(仙台港区)

タンク番号	油種	容量(kl)	屋根型式	内径×高さ(m)	被害状況
①	T-217	29,349	円錐屋根式	43×21	タンク下部破損、油流出 側壁・屋根板座屈
②	T-218				
③	T-221			37×21	タンクに亀裂発生
④	T-224	タンク下部破損、油流出、 側壁・屋根板座屈			
⑤	T-131	29,349		43×21	タンクに亀裂発生
⑥	T-128	11,200	浮屋根式	26×21	被害なし
⑦	T-129	20,900		37×20	
⑧	T- 1	102,000		78×22	
⑨	T- 4	55,000		58×22	
⑩	T-103	22,044	円錐屋根式	37×21	



石油タンク配置図(仙台港区)

◆ 復旧作業について

仙台港区で最も被害の大きかった東北石油(株)の油流出事故については、発災直後の12日夜半から、海上と護岸から消防車、タンクローリーなどによって油の回収が開始された。13日から油回収船、水中ポンプを投入し、陸上自衛隊の支援を得て懸命に作業を続けた結果、18日には大部分を回収し、油膜除去及び清掃作業に移った。

< 激甚災害の指定 >

県は、地震被害の大きさから、「激甚災害に対処するための特別の財政援助等に関する法律」に基づく激甚災害の指定が、復興促進への足がかりであると判断した。この激甚災害への指定と、さらに融資限度額の増額や融資条件などの改善について、国会及び政府関係機関へ強力に働きかけた。

この結果、震災発生から約1ヶ月半後の7月28日、激甚災害として同法第12条、第13条、第15条及び第22条の適用を受けた。

被害状況出典：港湾空港技術研究所提供

港空研資料(325)宮城県沖地震港湾被害報告(1979)

6 東日本大震災の記録

◆ 県内の被害状況

平成 23 年 3 月 11 日に発生した東日本大震災における県内の被害状況は、死亡者(関連死含む)10,567 名、行方不明者 1,217 名、負傷者は 4,145 名に上った。そのうち仙台市内で確認された死者は 923 名であり、甚大な被害を受けた。

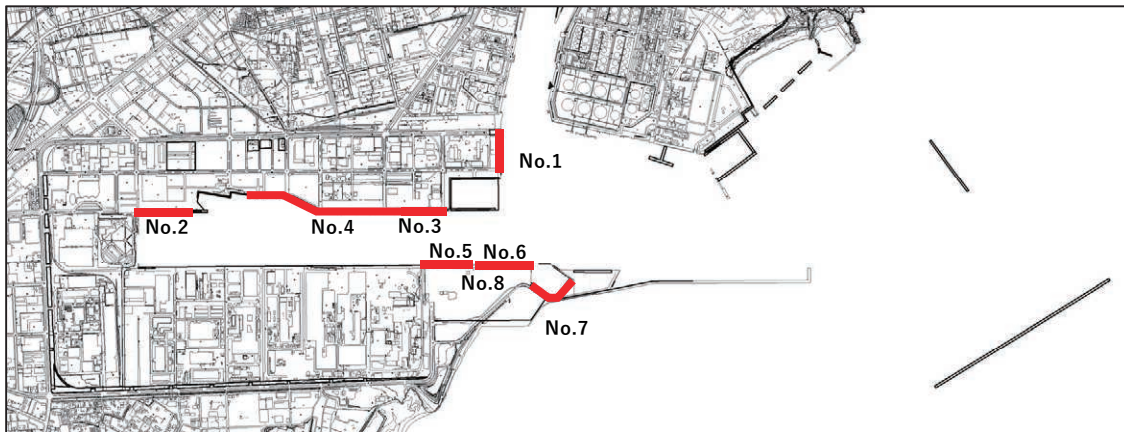
県内人的被害（令和 2 年度 12 月 31 日発表）

市町村	死者			行方不明者	負傷者		
	直接死	関連死	合計		重傷	軽傷	その他
仙台市	658	265	923	27	276	1,999	0
石巻市	3,277	276	3,553	418	不明	不明	不明
塩竈市	24	18	42	0	2	8	0
気仙沼市	1,109	109	1,218	214	不明	不明	不明
白石市	0	1	1	0	0	18	0
名取市	912	42	954	38	14	194	0
角田市	0	0	0	0	0	4	0
多賀城市	188	31	219	0	不明	不明	不明
岩沼市	180	6	186	1	7	286	0
登米市	0	10	10	3	12	40	0
栗原市	0	1	1	0	6	544	0
東松島市	1,066	66	1,132	23	62	59	0
大崎市	2	5	7	0	79	147	0
富谷市	0	1	1	0	2	30	0
蔵王市	0	0	0	0	0	0	0
七ヶ宿町	0	0	0	0	0	0	0
大河原町	0	2	2	0	0	0	1
村田町	0	1	1	0	0	1	0
柴田町	2	3	5	0	3	1	0
川崎町	0	0	0	0	0	0	3
丸森町	0	0	0	0	0	1	0
巨理町	265	18	283	4	2	43	0
山元町	681	20	701	17	9	81	不明
松島町	2	5	7	0	3	34	0
七ヶ浜町	76	3	79	2	不明	不明	不明
利府町	1	1	2	0	4	0	0
大和町	0	1	1	1	0	7	0
大郷町	1	0	1	0	1	4	0
大衡村	0	0	0	0	0	4	0
色麻町	0	0	0	0	0	9	0
加美町	0	0	0	0	0	33	0
涌谷町	1	0	1	1	1	20	24
美里町	0	2	2	0	19	48	0
女川町	593	22	615	257	不明	不明	不明
南三陸町	600	20	620	211	不明	不明	不明
合計	9,638	929	10,567	1,217	502	3,615	28

◆ 港湾の被害状況

仙台港区では津波により岸壁の破損、ガントリークレーンの損傷、船舶の座礁や灯台の倒壊など、甚大な被害を受けた。

○ 係留施設、荷役施設

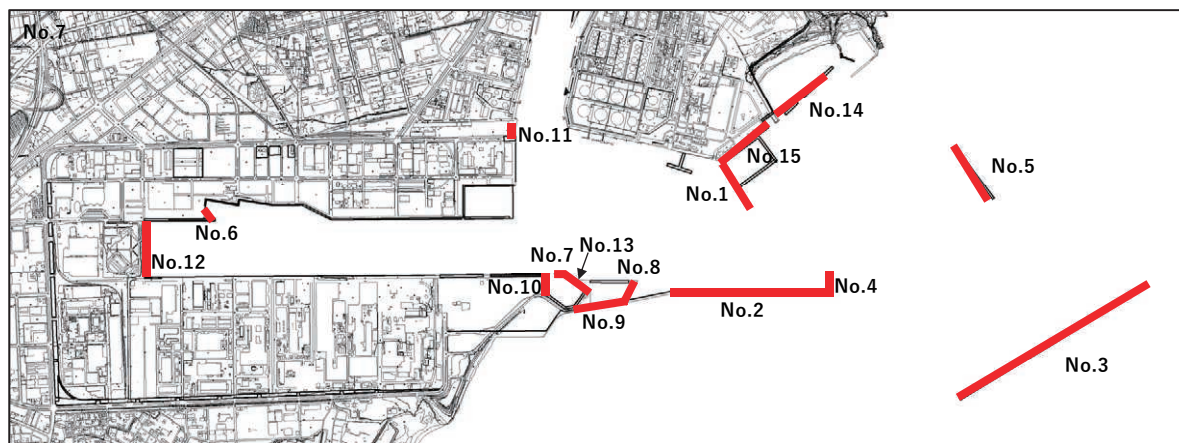


係留施設・荷役施設 被害位置図

係留施設・荷役施設 被害状況一覧

No.	地区名	施設名	延長(m)	構造様式	水深(m)	天端高(m)	設計震度	被災延長
1	中野	高松ふ頭岸壁(-12.0m)	270.0	鋼管矢板式	-12.6	+3.1	0.09	270.0
2		雷神ふ頭1・2号岸壁(-7.5m)	510.0	直立消波ブロック式 鋼管矢板式	-7.9	+3.1	0.05~0.10	510.0
3		中野ふ頭1号岸壁(-12.0m)	270.0	鋼管矢板式	-12.3	+3.1	0.1	270.0
4		中野ふ頭2~6号岸壁(-10.0m)	946.3	鋼管矢板式	-10.0~-10.3	+3.1	0.1	946.3
5	向洋	高砂ふ頭1号岸壁(-12.0m)	330.0	鋼管矢板式	-12.6	+4.2	-	295.0
6		高砂ふ頭2号岸壁(-14.0m)	360.0	鋼管矢板式	-15.5	+4.2	0.22	360.0
7		高砂物揚場	325.4	-	-	-	-	325.4
8		ガントリークレーン1~4号機	-	-	-	-	-	-

○ 外郭施設



外郭施設 被害位置図

外郭施設 被害状況一覧

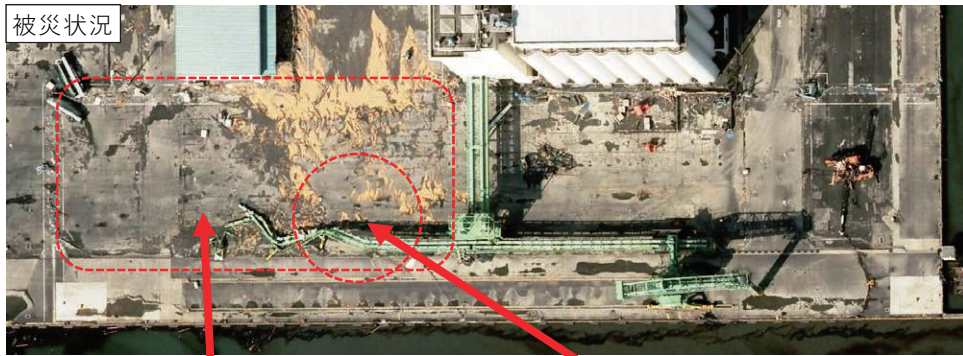
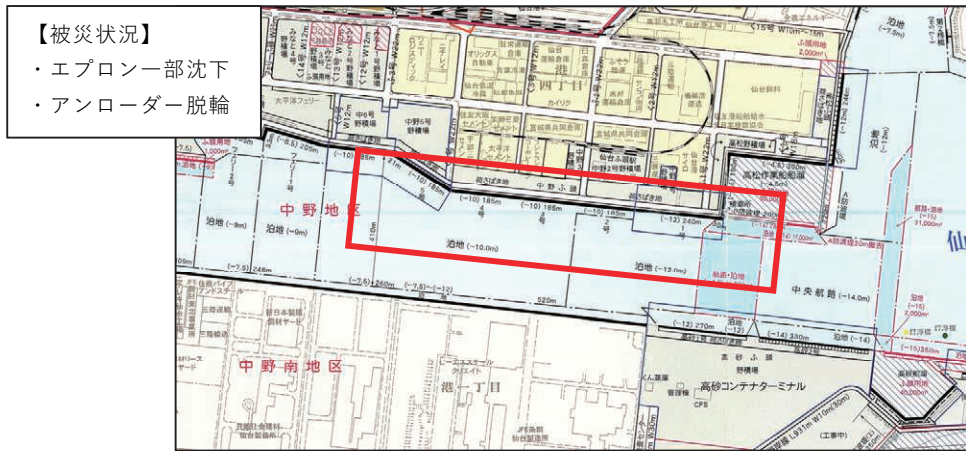
No.	施設名	延長(m)	構造様式	水深(m)	天端高(m)	設計震度	被災延長
1	北防波堤	325.0	消波ブロック傾斜堤 消波ブロック被覆堤	-5.8	+5.2	-	325.0
2	南防波堤	1268.0	ケーソン式混成堤	-14.0~-17.0	+5.0	-	1268.0
3	沖防波堤	1304.1	消波ブロック被覆堤	-18.5~-19.0	+5.4	-	1304.1
4	C防波堤	92.2	ケーソン式混成堤	-9.5~-17.0	+5.0	-	92.2
5	新北防波堤	400.5	-	-	+4.8~5.1	-	-
6	中野地区護岸Ⅱ	60.0	矢板式	-8.5	+3.1	0.1	60.0
7	高砂防波堤	-	-	-	+4.0	-	-
8	向洋ふ頭防波護岸	169.5	-	-	-	-	169.5
9	南防波護岸	-	-	-	-	-	397.7
10	高砂ふ頭東B護岸	98.3	-	-	-	-	98.3
11	北航路西C護岸	144.0	-	-	-	-	144.0
12	雷神護岸Ⅰ	350.0	-	-	-	-	-
13	向洋ふ頭西護岸	80.0	-	-	+4.0	-	-
14	湊浜離岸堤1	100.0	-	-	-	-	-
	湊浜離岸堤2	100.0	-	-	-	-	-
15	栄地区埋立護岸A工区	322.8	-	-	-	-	-
	栄地区埋立護岸B工区	426.5	-	-	-	-	-
	栄地区埋立護岸C工区	304.9	-	-	-	-	-

被害状況出典：港湾空港技術研究所提供

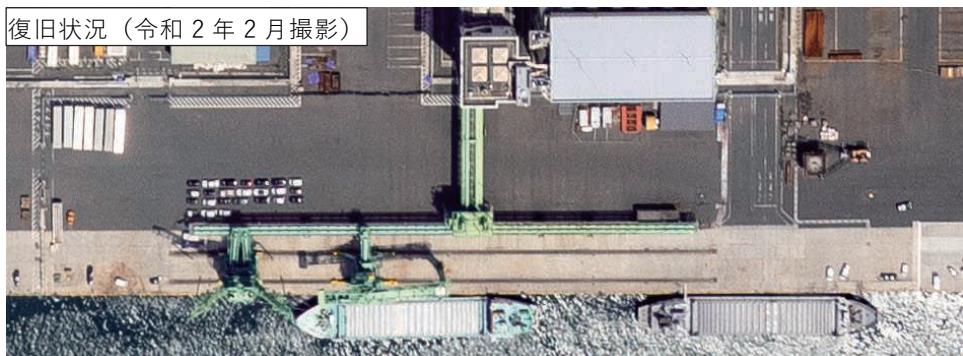
「港空研資料(1291)平成23年(2011年)東北地方太平洋沖地震による
港湾施設等被害報告(2015)」

◆ 各施設の被災・復旧状況

< 中野地区 > 中野ふ頭 1~6 号岸壁



中野ふ頭 1 号岸壁 被災状況



中野ふ頭 1 号岸壁 復旧状況

< 中野地区 > 施設被災状況



中野ふ頭 1号・2号岸壁 被災状況



中野ふ頭 1号岸壁 被災状況



中野ふ頭 2号岸壁 被災状況



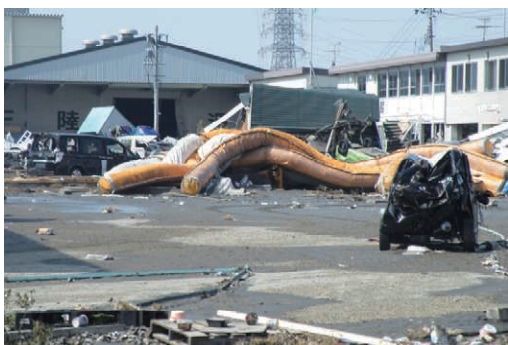
中野ふ頭 3号・4号岸壁 被災状況



中野ふ頭 5号・6号岸壁 被災状況



高松ふ頭岸壁 被災状況

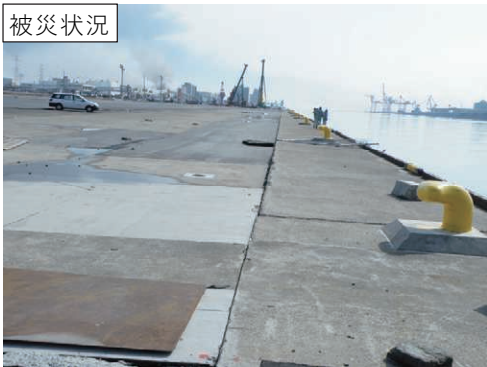
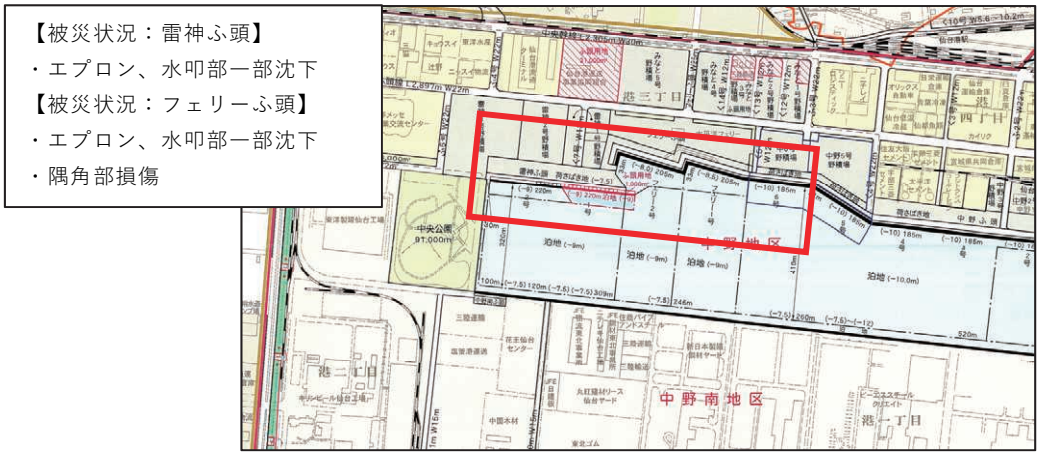


物流倉庫 被災状況



物流倉庫 被災状況

<中野ふ頭地区> 雷神ふ頭・フェリーふ頭

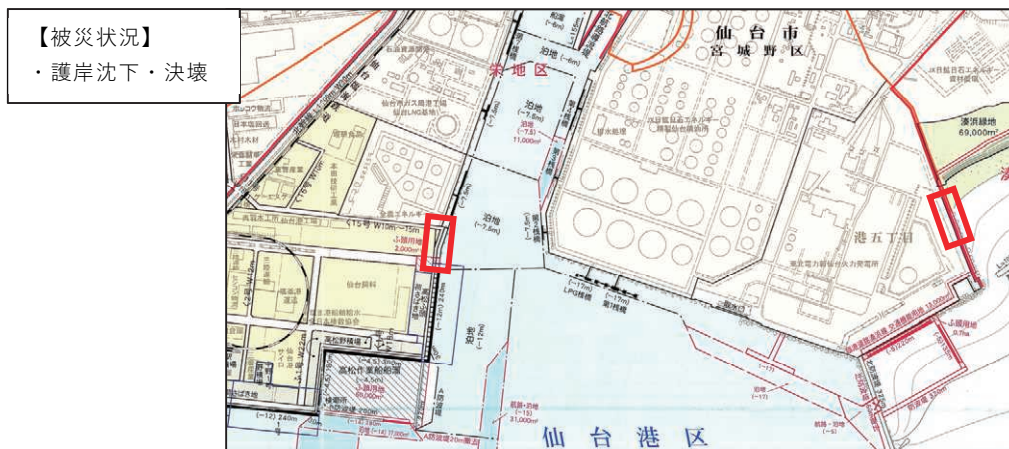


雷神ふ頭岸壁 被災状況



フェリーふ頭岸壁 被災状況

< 栄地区 >



栄地区護岸 被災状況



栄地区護岸 復旧状況

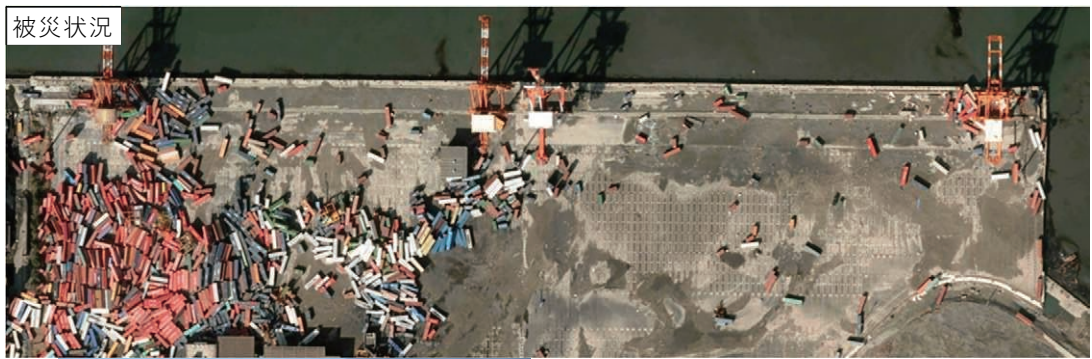
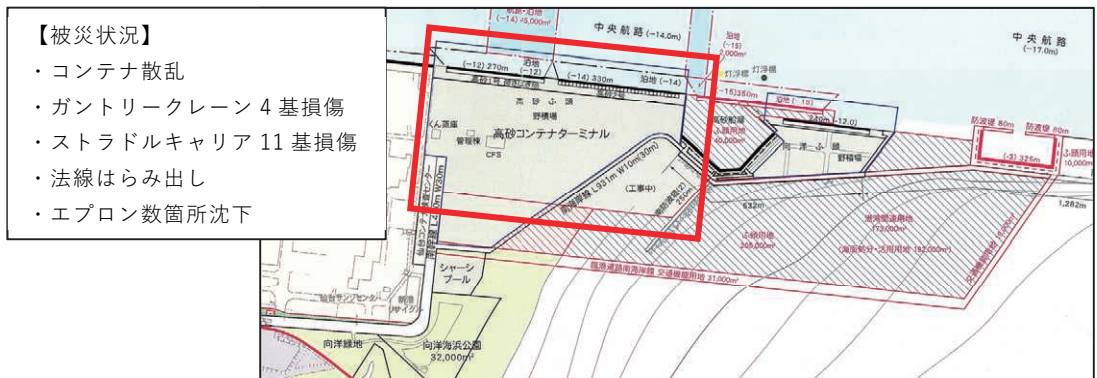
写真で見る仙台港

仙台港の歴史

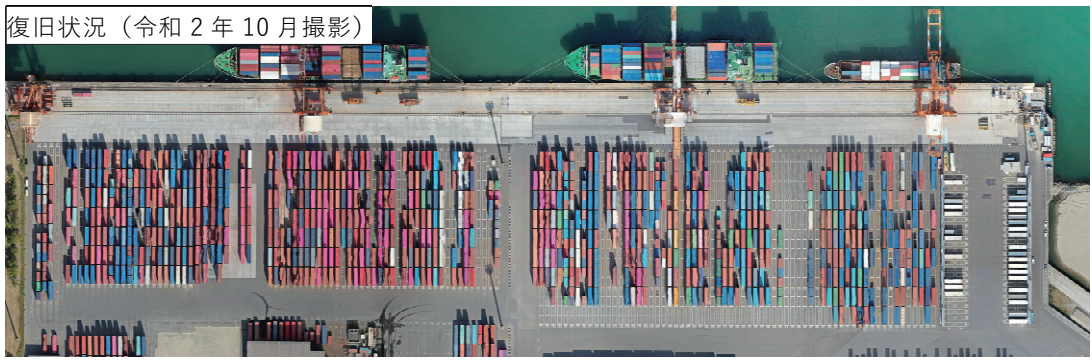
仙台港のあゆみ

資料編

<向洋地区> 高砂コンテナターミナル (高砂ふ頭1号・2号岸壁)

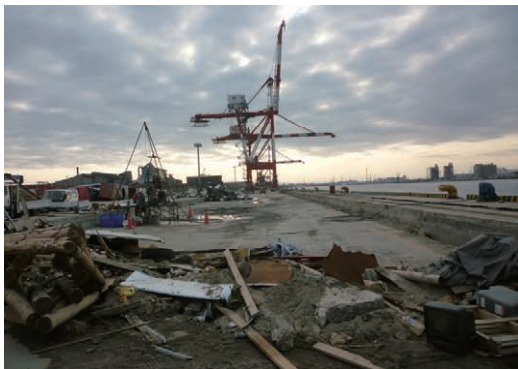


高砂コンテナターミナル 被災状況



高砂コンテナターミナル 復旧状況

<向洋地区> 高砂コンテナターミナル 復旧工事状況



復旧工事着工前



復旧工事全景



舗装撤去



鋼管杭打ち込み



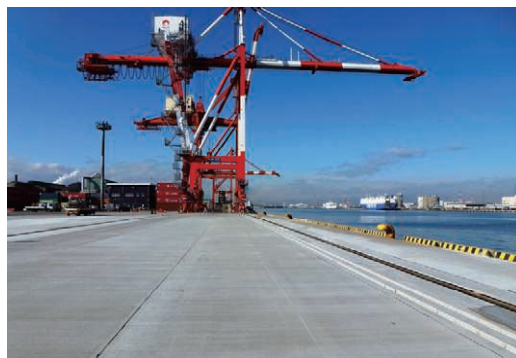
鋼管杭打ち込み完了



舗装コンクリート打設



防舷材設置



復旧工事完了

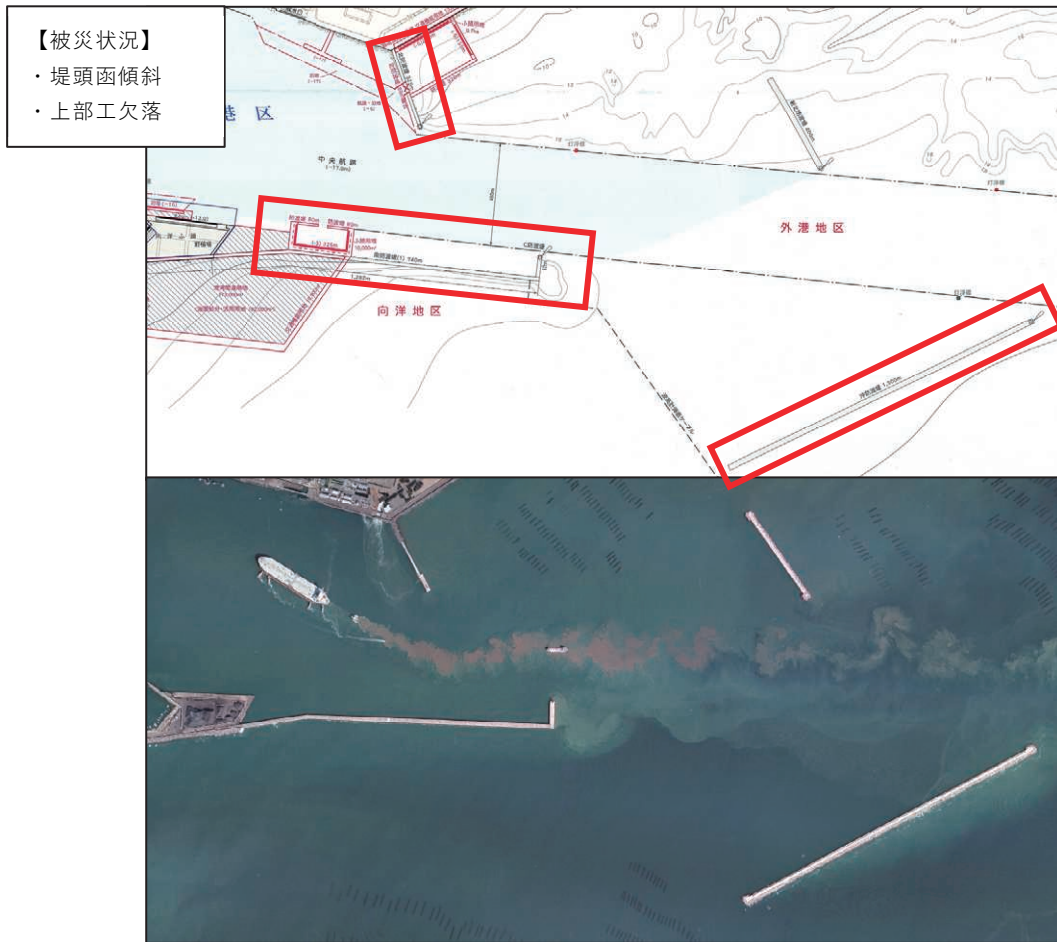
写真で見る仙台港

仙台港の歴史

仙台港のあゆみ

資料編

<外郭施設> C 防波堤・南防波堤



南防波堤 被災状況



C 防波堤 被災状況



C 防波堤 復旧工事状況

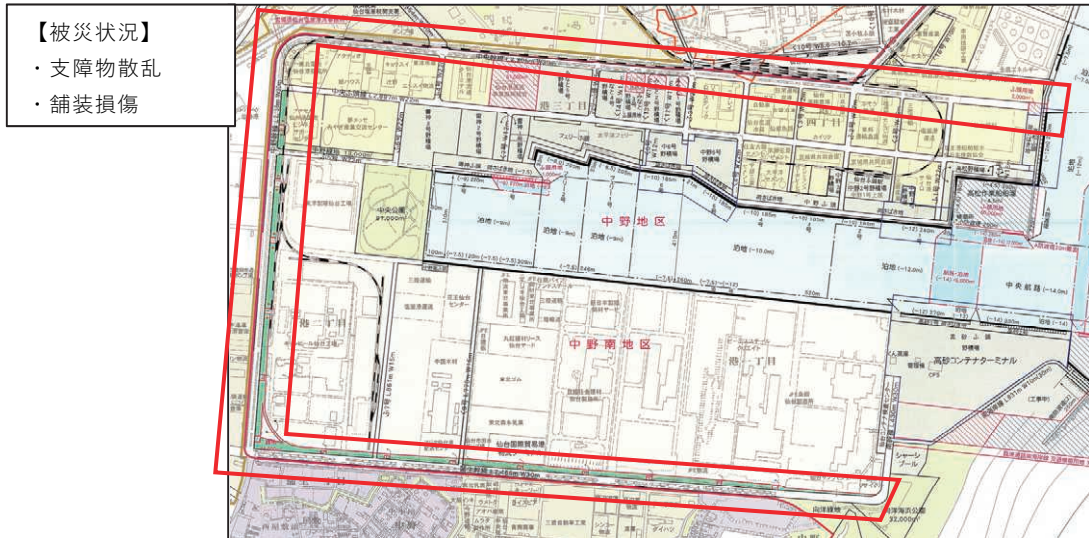


北防波堤 被災状況



沖防波堤 被災状況

< 臨港道路 >



中央ふ頭線 被災状況



蒲生幹線 被災状況



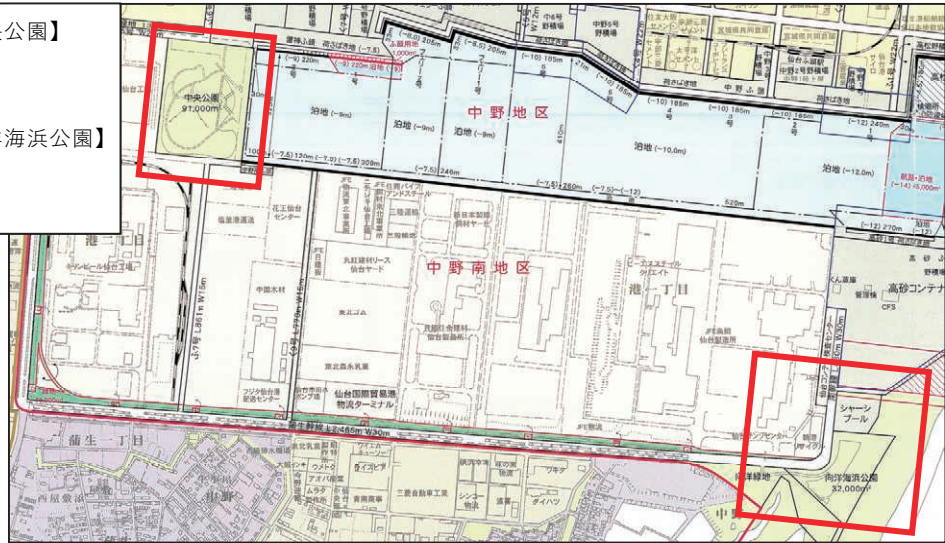
中野幹線 被災状況



西幹線 被災状況

< 周辺施設 >

- 【被災状況：中央公園】
- ・護岸決壊
- 【被災状況：向洋海浜公園】
- ・舗装損傷
 - ・沈下



被災状況

中央公園



被災状況



中央公園 被災状況



向洋海浜公園 被災状況

写真で見る仙台港

仙台港の歴史

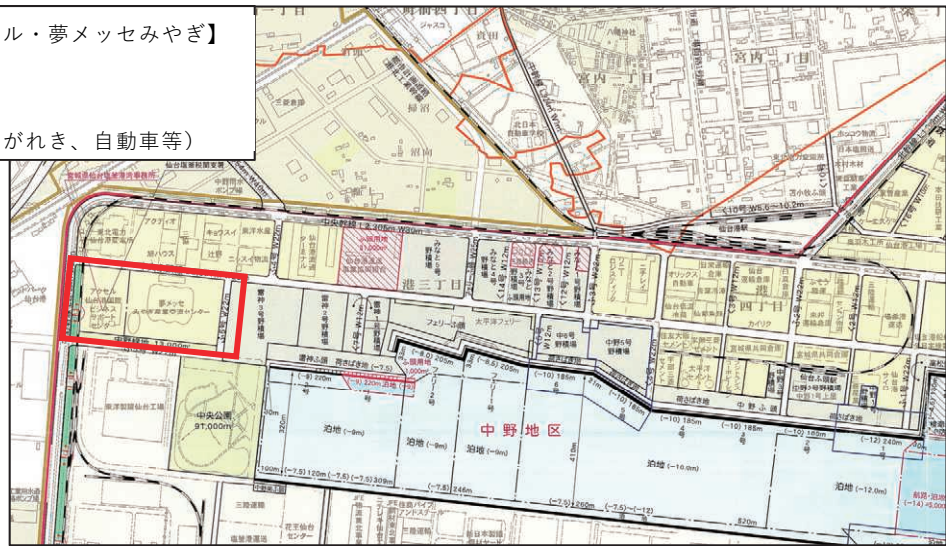
仙台港のあゆみ

資料編

<周辺施設> 仙台港国際サポートセンター（アクセル）・夢メッセみやぎ

【被災状況：アクセル・夢メッセみやぎ】

- ・ 舗装損傷
- ・ 建物損壊
- ・ 津波漂流物散乱（がれき、自動車等）



被災状況



アクセル 被災状況



夢メッセみやぎ 被災状況

◆ 震災による被害額、復興費

県内の港湾関係施設の被災状況は、平成23年4月15日時点の調査で、港湾施設333件、被災額約467億円、海岸保全施設58件、約124億円だった。そのうち、仙台塩釜港仙台港区は38件、被災額約75億円だった。

その後、平成23年7月7日から12月9日にかけて災害査定が実施され、仙台港区の決定額は50件、約70億円となった。

○ 港湾関係被災額（宮城県内）

施設別	被災状況（全施設）		内 公共施設被災対象	
	件数	被災額(百万円)	件数	被災額(百万円)
港湾施設	333	46,731	289	41,614
海岸保全施設	58	12,451	58	12,451
港湾課所管 計	391	59,182	347	54,065

○ 港湾施設内訳（仙台塩釜港）

港別	被災状況（全施設）		内 公共施設被災対象		内 直轄災害対象箇所	
	件数	被災額(百万円)	件数	被災額(百万円)	件数	被災額(百万円)
仙台塩釜港仙台港区	38	7,581	14	5,271	11	2,655
塩釜港区	39	1,879	38	1,869	-	-
小 計	77	9,460	52	7,140	11	2,655

○ 海岸保全施設内訳（仙台塩釜港）

港別	被災状況（全施設）	
	件数	被災額(百万円)
仙台塩釜港仙台港区	1	100
塩釜港区	9	235
小 計	10	335

○ 被害状況（仙台塩釜港仙台港区）

区分	地区名	施設名	被災数量	被災金額	備考
港湾	港内	航路泊地	A=2,000m ²	250,000	航路支障物撤去 応急工事
		臨港道路		209,000	臨港道路支障物撤去 応急工事
		岸壁	L=2,500m	300,000	係留施設附帯施設流出 (SOLAS)
	中野	区画3号線	L=50m	10,000	舗装陥没
		ふ頭4号線	L=50m	1,200	歩道流出
		ふ頭1号線	L=230m	4,600	舗装段差
		ふ頭5号線	L=100m	1,200	舗装段差、中央分離帯流出
		高松ふ頭取付護岸	L=160m	700,000	取付護岸せり出し
		雷神護岸Ⅰ	L=350m	1,500,000	護岸崩壊
	向洋	南海岸線	L=250m	50,000	道路流出
		高砂取付護岸	L=120m	2,000,000	取付護岸せり出し
		高砂船溜り物揚場	L=500m	200,000	物揚場沈下
		向洋緩衝緑地	L=40m	20,000	法面崩壊等
			小計	5,246,000	
海岸	湊浜	湊浜親水護岸	L=300m	100,000	親水護岸流出
		小計	100,000		
		合計	5,346,000		

○ 平成23年次 災害査定結果（仙台塩釜港仙台港区）

事業名	査定日程		申請		決定		査定率
	査定	日程	件数	申請額(千円)	件数	決定額(千円)	
負担法	1次査定	7/7~7/8	-	-	-	-	-
	2次査定	7/25~7/29	6	69,474	6	69,403	99.90%
	3次査定	8/1~8/5	3	99,742	3	99,368	99.63%
	4次査定	8/29~9/2	8	284,212	8	283,827	99.86%
	5次査定	9/5~9/9	-	-	-	-	-
	6次査定	9/12~9/16	5	1,429,547	5	1,423,527	99.58%
	7次査定	10/17~10/21	7	1,079,307	7	1,044,614	96.79%
	8次査定	10/24~10/28	7	1,675,486	7	1,668,792	99.60%
	9次査定	11/7~11/11	-	-	-	-	-
	10次査定	11/14~11/18	2	1,663,107	2	1,549,357	93.16%
	11次査定	11/28~12/2	1	279,513	1	279,513	100.00%
	12次査定	12/5~12/9	2	147,405	2	145,922	98.99%
		小計	41	6,727,793	41	6,564,323	97.57%
環境関連	12次査定	12/5~12/9	9	692,015	9	676,039	97.69%
		小計	9	692,015	9	676,039	97.69%
		合計	50	7,419,808	50	7,240,362	97.58%

災害査定結果一覧

査定 1次	工事番号	補助区分	市町内名	申請額(千円)		決定額(千円)		用途	査定書
				工事費	内訳	工事費	内訳		
2次	301	負担法	仙台市	9,128	8,994	134	8,999	134	99.73臨港道路フェリー・碼頭
	302	負担法	仙台市	7,577	7,466	111	7,577	7,466	100臨港道路・頭6号線
	303	負担法	仙台市	16,493	16,250	243	16,493	16,250	100臨港道路区画7号線
	304	負担法	仙台市	13,188	12,994	194	13,142	12,948	99.65臨港道路区画12号線
	305	負担法	仙台市	14,187	13,978	209	14,187	13,978	100臨港道路区画13号線
	306	負担法	仙台市	8,901	8,770	131	8,901	8,770	100臨港道路区画16号線
3次	307	負担法	仙台市	21,029	20,719	310	21,029	20,719	100臨港道路・頭3号線
	308	負担法	仙台市	41,206	40,598	608	41,206	40,598	100臨港道路・頭5号線
	309	負担法	仙台市	37,507	36,963	544	37,133	36,588	99臨港道路区画15号線
	310	負担法	仙台市	8,423	8,299	124	8,423	8,299	100臨港道路区画1号線
	311	負担法	仙台市	20,383	20,082	301	20,383	20,082	100臨港道路区画2号線
	312	負担法	仙台市	67,135	66,143	992	67,135	66,143	100臨港道路区画9号線
4次	313	負担法	仙台市	12,490	12,306	184	12,490	12,306	100臨港道路区画14号線
	314	負担法	仙台市	14,564	14,734	220	14,935	14,715	98.87臨港道路・頭4号線
	315	負担法	仙台市	35,181	34,662	519	34,815	34,302	98.96臨港道路・頭7号線
	316	負担法	多賀城市	41,033	40,427	606	41,033	40,427	100臨港道路中幹線
	317	負担法	仙台市	84,613	83,363	1,250	84,613	83,363	100臨港道路中幹線
	318	負担法	仙台市	210,359	207,251	3,108	205,192	202,161	97.54臨港道路北幹線
5次	319	負担法	仙台市	91,979	90,620	1,359	91,803	90,447	98.81臨港道路・頭1号線
	320	負担法	仙台市	46,693	46,003	690	46,693	46,003	100臨港道路区画3号線
	321	負担法	仙台市	50,161	49,420	741	49,484	48,753	98.65臨港道路区画4号線
	322	負担法	七ヶ浜町	1,030,355	1,015,129	15,226	1,030,355	1,015,129	100新北防波堤
	323	負担法	仙台市	178,560	176,316	2,244	178,582	176,943	99.79臨港道路中央・頭線
	324	負担法	仙台市	243,681	240,081	3,600	238,157	235,624	98.14臨港道路南幹線
6次	325	負担法	仙台市	57,862	57,007	855	56,387	55,554	97.45臨港道路・頭2号線
	326	負担法	仙台市	69,784	68,754	1,030	69,784	68,754	100臨港道路区画10号線・臨港道路区画11号線
	327	負担法	仙台市	3,830	3,774	56	3,830	3,774	100高砂防波堤(1)・高砂防波堤(2)
	328	負担法	七ヶ浜町	137,815	135,779	2,036	109,499	107,881	79.45築港補修堤
	329	負担法	仙台市	387,375	381,651	5,724	387,375	381,651	100高砂防波堤(1)号物障壁・高砂船溜り2号物障壁・高砂船溜り3号物障壁・高砂船溜り船津場
	330	負担法	仙台市	365,950	360,542	5,408	365,950	360,542	100臨港道路中央幹線
7次	331	負担法	仙台市	295,982	291,608	4,374	295,982	291,608	100臨港道路中幹線
	332	負担法	仙台市	67,525	66,528	997	67,525	66,528	100臨港道路高幹線
	333	負担法	仙台市	115,888	113,782	1,706	115,018	113,319	98.59向洋・頭車A防波堤・向洋・頭車B防波堤・向洋・頭車C防波堤
	334	負担法	仙台市	67,947	66,943	1,004	61,723	60,811	98.84防波堤岸
	335	負担法	仙台市	167,943	165,462	2,481	167,943	165,462	100高砂・頭車B護岸
	336	負担法	仙台市	594,651	588,864	8,787	594,651	588,864	100北幹路C護岸
8次	337	負担法	七ヶ浜町	287,435	283,188	4,247	287,435	283,188	100築港補修水護岸
	338	負担法	仙台市	1,375,672	1,356,342	20,330	1,261,922	1,243,273	91.73築地区東A護岸・築地区東B護岸・築地区東C護岸
	339	負担法	仙台市	279,513	275,383	4,130	279,513	275,383	100築港護岸1
	340	負担法	仙台市	114,584	112,891	1,693	113,101	111,430	98.71中野・頭1号岸壁SOLAS7エース・中野・頭5号岸壁SOLAS7エース・中野・頭6号岸壁SOLAS7エース
	341	負担法	仙台市	32,821	32,336	485	32,821	32,336	100北幹路地①・北幹路地②・北幹路地③・高砂船溜り
	342	負担法	仙台市	74,091	69,066	5,025	74,091	69,066	100向洋海公園
9次	1	環状護堤	仙台市	94,025	87,904	6,121	94,025	87,904	100中央公園(1)
	2	環状護堤	仙台市	90,523	84,595	5,928	90,523	84,595	100中央公園(2)
	3	環状護堤	仙台市	99,699	93,266	6,433	99,699	93,266	100中央公園(3)
	4	環状護堤	仙台市	81,926	76,471	5,455	81,926	76,471	80.5中央公園(4)
	5	環状護堤	仙台市	102,953	96,400	6,553	102,953	96,400	100中央公園(5)
	6	環状護堤	仙台市	92,155	86,137	6,018	92,155	86,137	100中央公園(6)
10次	7	環状護堤	仙台市	24,789	22,806	1,983	24,789	22,806	100中央公園(7)
	8	環状護堤	仙台市	24,789	22,806	1,983	24,789	22,806	100中野緑地
	9	環状護堤	仙台市	31,854	29,334	2,520	31,854	29,334	100中野緑地
	10	環状護堤	仙台市	31,854	29,334	2,520	31,854	29,334	100中野緑地

写真で見える仙台港

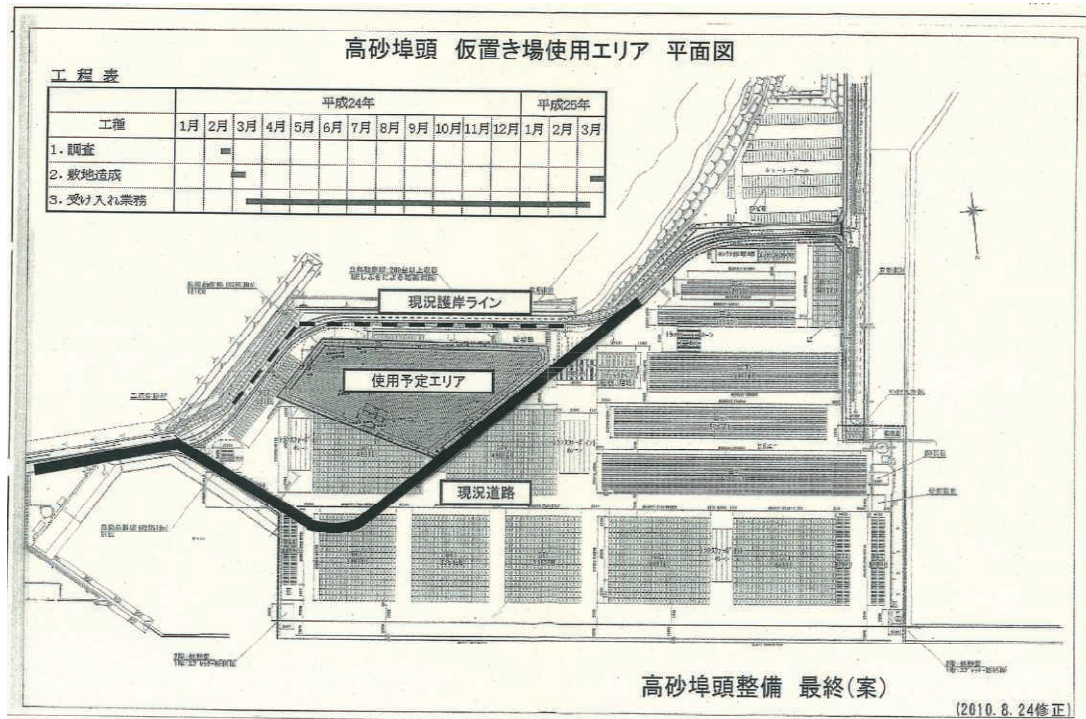
仙台港の歴史

仙台港のあゆみ

資料編

◆ 災害廃棄物処理への対応

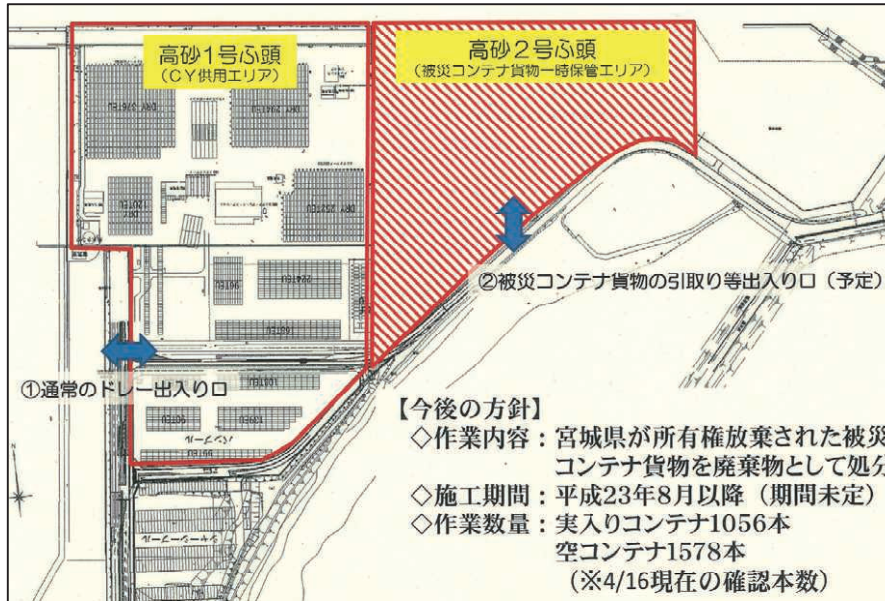
高砂ふ頭災害廃棄物仮置場は、現在の CFS やトラックゲートがある位置を使用した。



高砂ふ頭仮置場



○ 被災コンテナの処理について



被災コンテナ 一時保管エリア

1. 航路・泊地に流出したコンテナ貨物の処理

航路・泊地の早期復旧及び安全確保のため災害復旧事業として県が実施、費用を負担した。

作業内容	実施主体	費用負担
① 航路・泊地からのコンテナ貨物の引き揚げ・CYへの移動	宮城県	
② 上記①のコンテナ貨物の廃棄処理 (条件1・2)		

(条件1) 航路等の啓開作業として引き揚げたものは全て廃棄物扱いとして県が処理
(条件2) コンテナバン及び中の荷物について、所有権を放棄

2. CY内に散乱したコンテナ貨物の取扱い

CYの早期再開のため、CY内に散乱したコンテナ貨物の整理、引き渡し場所への移動を県が実施、費用を負担した。

作業内容	実施主体	費用負担
① CY内に散乱したコンテナ貨物の整理	宮城県	
② 上記①のコンテナ貨物の引取 (条件1)	所有者	所有者
③ 上記①のコンテナ貨物の廃棄処理 (条件2)	宮城県	所有者

(条件1) 平成23年7月29日までに引取り
(条件2) コンテナバン及び中の荷物について、所有権を放棄。廃棄物の処理費用は数量に応じて当該所有者に請求

3. 海岸・離島等CY外に漂着したコンテナ貨物の取扱い

港湾外に流出しているため、震災廃棄物として処理した。

作業内容	実施主体	費用負担
① 海岸・離島等CY外に流出したコンテナ貨物の回収	宮城県	
② 上記①のコンテナ貨物の廃棄処理		

(条件) コンテナバン及び中の荷物について、所有権を放棄

◆ 自治法派遣職員による応援

発災後、北海道、秋田、山形、東京など 17 都道県から 99 名の自治法派遣職員を派遣いただき、翌年の平成 24 年度には 28 都道県から 104 名の自治法派遣職員を派遣いただいた。また平成 25 年度以降の自治法派遣職員確保に向けても、各都道府県の土木部及び農林水産部の幹部職員に直接訪問し、派遣へのお礼と継続要請を行った。

令和 2 年度は 16 都道県から 43 名を派遣いただいている。



県別実派遣人数一覧（宮城県土木部）

派遣元	実派遣人数										計
	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	
北海道	10	6	10	10	9	8	5	3			61
秋田県	14	15	14	10	8	4	2			1	68
山形県	7	4	5	5	5	4	3	3	2	1	39
茨城県								1	1		2
群馬県			2	2	2	2	2				10
埼玉県		2	4	6	8	7	10	8	6	4	55
千葉県		1	1	2	2	1	1	1	2		11
東京都	20	12	7	11	11	11	12	12	12	13	121
神奈川県		1	2	5	3	4	4	12	8	8	47
新潟県	1	1	3	3	1	5	1	1	1	2	19
富山県	4	3	4	4	4	4	4	2	2	2	33
石川県	3	4	4	4	4	4	4	3	2	2	34
福井県	5										5
山梨県		2	1	1							4
岐阜県		4	4	4	4	3	2	1			22
愛知県	4	5	7	6	5	4	2	2	1		36
三重県		2	2	3	2	2	2	2	1	1	17
兵庫県	6	8	7	5	4	2	1	1			34
奈良県		1	3	3	3	3	2	1	1	1	18
鳥取県	1	1	5	5	5	4	2	2	1	1	27
広島県								1			1
島根県			2	1	1	1					5
山口県		2	1		1	1					5
徳島県	5	4	6	6	6	6	6	6	3		48
香川県			1	1	1	1	1	1	1	1	8
愛媛県	3	3	3	2	2	2	2	1			18
高知県		2	1	1	2	3	3	1			13
福岡県	4	5	3	8	5	5	4				34
佐賀県	4	4	3	2	3	2	1				19
熊本県	7	7	4	4	4	2				1	29
大分県	1	2	3	3	3	3	3				18
長崎県										1	1
宮崎県		1	2	3	2	3	2	2	1	2	18
鹿児島県		1	2	2	2	2	2	2	2	2	17
沖縄県		1		1	1	1	2	1			7
計	99	104	116	123	113	104	85	70	47	43	904
都道県	17	28	30	30	30	30	27	24	17	16	

なお、港湾関連分野としては、港湾課へは平成 28 年から令和 2 年度にかけて奈良県より事務職員 1 名延べ 5 名、仙台塩釜港湾事務所は、発災年度に東京都や石川県など 5 都県から 11 名の職員を派遣いただいた。

県別実派遣人数一覧（仙台塩釜港湾事務所）

派遣元	実派遣人数										
	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	計
埼玉県							1	2	1	1	5
東京都	2	1	4	4	4	4	4	4	4	1	32
石川県	2	2	1								5
鳥取県	1	1	1	1	1	1					6
徳島県	3										3
大分県	3	1	1	1	1	1	1				9
計	11	5	7	6	6	6	6	6	5	2	60
都道県	5	4	4	3	3	3	3	2	2	2	

◆ 震災年表

発災後及び復旧・復興の年表(1)

年度	月日	内 容
平成22年度	3月	14:46 東日本大震災・津波警報発出 被災直後 土木部災害対策本部を設置 東北地方整備局が「くしの歯作戦」を開始
		14:49 大津波警報発令、宮城県沿岸に津波最大6mと予想（気象庁）
		14:50 土木部BCPに基づき、安否確認、庁舎確認を実施（安否不明職員9名/26名）
		14:58 県内全市町村に対し、衛星無線FAXにて手書きによる避難指示を一齐送信
		15:00 仙台塩釜港湾事務所 屋外駐車場へ避難
		15:01 知事が自衛隊へ災害派遣要請指示
		15:14 宮城県沿岸に津波最大6m～10mと修正（気象庁） 県内全市町村に対し、衛星無線FAXにて手書きによる避難指示を再度一齐送信
		15:15 東日本大震災の最大余震発生（M7.6、震源地：茨城県沖、深さ43km、最大深度6強） 夢メッセ来客者約700名と共にアクセルホール側屋上へ避難（ラジオ情報：津波高6m）
		15:30 宮城県第1回災害対策本部会議 アクセル業務棟4,5階へ避難（ラジオ情報：津波高10m）、5階港湾事務所も一般県民に開放
		16:00 津波襲来 ・津波により公用車、通勤自家用車全て流出（アクセル建物近辺で津波高約2m） ・アクセル1階に車両、がれきが大量に流入、西側緩衝緑地で被災車両から数箇所で火災発生 ・港湾事務所で一般県民に雨具・防寒具などを提供したが数量が不足 ・事務所内や廊下は足の踏み場もないほど混乱 ・センターと夢メッセのイベント主催者でイベント用の食材や飲料水などを避難者へ配給 ・アクセルは津波発生時の指定避難所ではないため災害対応物資の準備がなかった
		16:20 第1回土木部災害対策本部会議
		20:50 東京電力福島第一原子力発電所半径2km以内の避難指示
		21:23 東京電力福島第一原子力発電所半径3km以内の避難指示
		22:50 宮城県建設業協会に各避難所へ発電機、燃料の搬送要請
		0:30 日本土木工業協会東北支部へ緊急物資受け入れのため、津波浮遊コンテナ、がれき撤去を要請 内陸部（仙南、大崎、栗原、登米）の宮城県建設業協会各支部に対し、沿岸部への応援を要請
		5:44 東京電力福島第一原子力発電所半径10km以内の避難指示
		7:25 仙台塩釜港への緊急物資受け入れのための作業船を確保したが、警報解除待ちで待機
		午前 職員3名でアクセル周辺のみ港内パトロール実施 ・貨物船1隻が企業岸壁に乗り上げているのを確認、その他港内には貨物船の停泊なし ・道路上は電柱や照明灯の倒壊、被災車両、荷役機械、倉庫からの流出物資などの散乱により車両通行不可 ・夢メッセのイベント主催者が退避していた一般県民をマイクロバスで高砂駅までピストン輸送
		14:30 仙台塩釜港湾事務所は津波被害のため、仙台土木事務所に移動し業務を継続する準備中
		15:00 高砂駅から港湾課の公用車で業務代替機関である仙台土木事務所へ移動
		15:30 仙台土木事務所3名、塩釜支所2名を配置しその他の職員帰宅
		15:36 東京電力福島第一原子力発電所1号機水素爆発
	13日	仙台港区パトロール ・使用可能岸壁：雷神ふ頭1号、中野ふ頭5・6号（高松は岸壁の状態は良いもののアクセス道路なし） ・高砂コンテナターミナル1号バース被災なし（被災コンテナの為に利用不可）、2号バース護岸はらみだし有り ・ガントリークレーン使用不可
	14日	11:01 東京電力福島第一原子力発電所3号機水素爆発 15:00 直轄事務所と調整会議を開催：緊急物資の輸送方針について 16:00 三陸運輸へ緊急輸送路及び被災状況マップ（直轄作成）説明 17:50 五洋建設に輸送ルート説明、輸送路の確保を依頼 18:00 ・五洋建設の燃料確保のため、災害復旧作業の依頼文発行を港湾課に要請 ・港湾課から五洋建設へ海上航路確保及び陸域の輸送路確保を依頼
	15日	啓開作業：臨港道路の支障物撤去開始 6:20 東京電力福島第一原子力発電所2号機水素爆発 10:00 ・三陸運輸、塩釜港運送へ3/16に輸送船着岸予定を説明（雷神ふ頭着岸予定） ・五洋建設と航路・泊地の音探結果確認 ・塩釜港船舶給水（株）に綱取り業務依頼 23:20 海上保安部が測量不十分との見解のため明朝再測量を決定
	16日	2:00 輸送船の着岸場所変更。雷神ふ頭は浅い場所があるため、高松ふ頭へ変更、入港は15:00予定 13:00 輸送船入港が17日に変更
	17日	夢メッセ、アクセルのがれき撤去着手（3月24日終了） 16:05 がれき撤去が応急完了した高松ふ頭に緊急物資輸送船「海翔丸」が震災後初入港
	18日	JX日鉱日石エネルギー仙台製油所への燃料輸送ルート確保
	19日	「トモダチ」作戦日米合同救援活動
	25日	太平洋フェリーが発災後初入港（緊急物資輸送）

発災後及び復旧・復興の年表(2)

年度	月日	内 容
平成23年度	4月	1日 一般船舶の岸壁利用再開
		2日 第1回 仙台塩釜港復興会議
		7日 宮城県沖を震源とする余震が発生（M7.1、県内最大震度6強）、自動車運搬船(搬入)定期航路再開
		11日 太平洋フェリーの定期航路再開
		16日 自動車運搬船、完成自動車の積出再開
	5月	21日 自動車運搬船、県内生産の完成自動車の積出再開
		18日 福島県第一原発事故による放射能汚染の懸念が寄せられ、放射線、放射能測定を実施
	6月	27日 震災後初の外国船入港（石炭）
		8日 国際フィーダーコンテナ航路再開（近海郵船物流(株)・井本商運(株)）
		23日 国際フィーダーコンテナ航路再開（鈴与海運(株)）
		24日 第2回 仙台塩釜港復興会議
	7月	25日 仙台港エリア復興記念イベント「マルシェ・ジャポンin仙台港」開催
		8日 国際フィーダーコンテナ航路再開（(株)横浜コンテナライン）
		26日 港運協会から港運企業へストラドルキャリア2基無償提供
	8月	27日 公共土木施設災害査定開始
		1日 自衛隊の県内での支援活動終了
		8日 第3回 仙台塩釜港復興会議
		11日 仙台港エリア復興記念イベント「withLIGHT UP NIPPON」 「マルシェ・ジャポンin仙台港」開催
		17日 博多港から宮城県へストラドルキャリア1機無償提供
		18日 高砂ふ頭2号バース本格復旧工事着手
		23日 仙台港区から流出した海岸漂着コンテナの撤去開始（市町村からの受託）
	9月	5日 高砂コンテナターミナル ガントリークレーン2号機 復旧
		15日 みやぎ45フィートコンテナ物流特区による日本初の45フィートコンテナによる輸出開始
		30日 国際コンテナ定期航路：中国・韓国航路 再開（南星海運(株)）
	11月	2日 キリンビール仙台工場が震災後初出荷
	12月	6日 高砂コンテナターミナル ガントリークレーン1号機 復旧
		9日 公共土木施設災害査定終了（第12次）
		15日 塩釜工区臨港道路高上げ説明会開催（災害査後、復旧内容について地元説明開始）
		22日 高砂ふ頭2号バースコンテナヤード一部舗装復旧完了（L=270m×W=60m）
	1月	11日 国内初の45フィートコンテナによる輸入開始
		13日 高砂ふ頭2号バース供用再開(270m)、ガントリークレーン4号機 復旧
		22日 国際コンテナ定期航路：北米西岸・東南アジア航路 再開（日本郵船、Hapag-Lloyd、OOCL）
	2月	6日 仙台港区防潮堤計画説明会開催
10日 復興庁発足（仙台市に宮城復興局、気仙沼市、石巻市に2支所を設置）		
3月	29日 第34回地方港湾審議会 仙台塩釜港・石巻港・松島港の港湾区域の統合について	
	30日 国際コンテナ定期航路：韓国航路 再開・延伸（興亜海運・高麗海運共同運航）	
平成24年度	4月	28日 高砂コンテナターミナル ガントリークレーン3号機 復旧
	5月	17日 国際コンテナ定期航路：中国・韓国航路 増便（南星海運(株)）
	6月	1日 宮城県港湾復興大会 開催(以降、毎年開催)、「東日本大震災職員の証言」公開
		29日 夢メッセみやぎ 復旧工事完了
	7月	9日 高砂ふ頭船舶給水施設 復旧工事完了
		19日 仙台港区ふ頭5号線 復旧工事完了
	9月	20日 とうほく自動車フェスタ（夢メッセみやぎ）（～7月29日）
		7日 仙台臨海鉄道 完全復旧完了
		26日 仙台港区防波堤 復旧工事完了（国施工分）
	10月	12日 中野ふ頭5号野積場舗装 復旧工事完了
		17日 仙台塩釜港、石巻港、松島港の統合一体化
	11月	8日 大型客船「飛鳥II」震災後初入港（中野1号ふ頭）
		1日 仙台港インターチェンジ供用開始（仙台東部道路）
		4日 土木部BCP改訂版の運用開始
		17日 高松ふ頭舗装 復旧工事完了
12月	20日 新北防波堤 復旧工事完了（これにより国が施工したものと併せて仙台港区の防波堤は全復旧完了）	
	4日 みやぎ45フィートコンテナ物流特区地域協議会開催	
3月	21日 国際拠点港湾となる新「仙台塩釜港」発足記念シンポジウム	
	23日 仙台湾南部海岸 完成式	

写真で見える仙台港

仙台港の歴史

仙台港のあゆみ

資料編

発災後及び復旧・復興の年表(3)

年度	月日	内 容		
平成25年度	4月 26日	向洋浜公園 供用再開		
	6月	18日	国際コンテナ定期航路：韓国航路 中国延伸	
		28日	臨港道路蒲生幹線（仙台市内路面クラック） 本復旧工事完了	
	7月	5日	県営中野1号上屋 竣工	
		29日	仙塩釜港管理・運営協議会・利用促進連絡会議	
	8月	26日	臨港道路ふ頭2号線（仙台市内路面クラック） 本復旧工事完了	
		27日	中野上屋 復旧工事完了	
	9月 1日	仙塩釜中央公園の愛称「スリーエム仙塩釜パーク」		
	10月 9日	建設発生土利用にかかる自治体間協定締結		
	12月 4日	国際フィーダー航路（京浜-仙台航路）新造船「さがみ」初入港 歓迎式典開催		
	1月 24日	高松2号ふ頭 埋立工事開始		
	2月 28日	雷神護岸Ⅰ災害復旧工事 本復旧工事完了		
	3月	3日	横浜税関仙塩釜税関支署コンテナ検査センター再稼働式	
25日		中野地区防潮堤整備 工事開始		
平成26年度	4月	18日	国際コンテナ定期航路：韓国航路 新設（興亜海運・高麗海運共同運航）	
		25日	仙塩釜国際ビジネスサポートセンター 災害復旧工事完了	
	5月 22日	国際コンテナ定期航路：韓国航路 増便		
	6月	5日	国際コンテナ定期航路：韓国航路 新設（南星海運(株)）	
		17日	高砂コンテナヤード拡張工事開始（6ha拡張）	
	8月 9日	スリーエム仙塩釜パーク 供用再開		
	9月 30日	スリーエム仙塩釜パーク 護岸倒壊 復旧工事完了		
	10月 1日	臨港道路南海岸線 供用開始		
	11月	4日	国際コンテナ定期航路：中国・韓国航路 新造船「HEUNG-A JANICE」初入港	
		10日	仙塩釜背後土地区画整理事業 竣工式	
	12月 23日	国際コンテナ定期航路：中国・韓国航路 新造船「SUNNY DAISY」初入港		
	1月 27日	仙塩釜港管理・運営協議会		
	2月	20日	高砂船溜り 復旧工事完了	
		18日	第8回使い勝手の良い仙塩釜づくり推進部会（高砂コンテナターミナルの利用について）	
		20日	仙塩釜港港湾機能継続協議会（BCP計画策定に向け取り組み開始）	
3月	20日	高砂船溜り 復旧工事完了		
		南防波護岸 消波ブロックの流出沈下 本復旧完成		
平成27年度	5月 15日	仙塩釜港区を中学生が見学		
	6月 8日	国際コンテナ定期航路：北米西岸航路 新設（ウェストウッド・ SHIPPINGラインズジャパン(株)）		
	7月 16日	LNG第一船 新仙塩釜火力発電所（東北電力）に入港		
	10月	23日	湊浜親水護岸外 災害復旧工事完了	
		26日	国際コンテナ定期航路：韓国航路 新設	
	11月 7日	国際コンテナ定期航路：極東ロシア航路 新設（極東船舶(株)）		
	12月 11日	仙塩釜港区防潮堤（仙台パワーステーション工区、雷神工区、中野6号工区）新規完成		
	1月 29日	雷神荷捌地照明設備 設置工事完了		
	2月 16日	国際フィーダー航路：仙塩釜区-東京港 新設 フィーダーコンテナ航路数が過去最高9航路		
	平成28年度	4月 19日	国際コンテナ定期航路：韓国航路 新設	
5月 19日		G7仙台歓迎レセプション		
6月		13日	広域防災拠点整備に伴うJR貨物との基本合意書締結	
		20日	宮城県復興フォーラム開催（仙台市）	
9月 9日		国際フィーダー航路（京浜港）増便		
10月		5日	北航路西C護岸沈下 本復旧工事完了	
		28日	宮城県ドクターヘリ就航式	
2月		2月	国際コンテナ定期航路：中国・韓国航路 増便	
		7日	宮城県防災会議	
3月		13日	高砂野横場沈下 本復旧工事完了	
		18日	東北広域港湾防災対策協議会	
		28日	東北クルーズ振興連携会議設置	
平成29年度		4月	17日	大型客船「飛鳥II」震災後10回目入港（中野ふ頭1号）
			28日	第1回復興まちづくり事業勉強会
			29日	大型客船「セレブリティ・ミレニアム」初入港（中野ふ頭1号）
	7月 31日	臨港道路ふ頭8号線 供用開始		
	9月 30日	東北・みやぎ復興マラソン2017（～10月1日）		
	11月	6日	高砂野横場沈下 復旧工事完了	
26日		2017防災産業展in仙台“震災遺物”展示会を開催（～11月27日）		
12月 15日	高松2号ふ頭 供用開始			

発災後及び復旧・復興の年表(4)

年度	月日	内 容	
平成29年度	2月 15日	カメイ(株)、損害保険ジャパン日本興亜(株)との包括連携協定及び災害時の支援協力に関する協定	
	3月	2日	みやぎ絆大使 サンドウィッチマン「東北魂義援金」贈呈 「東日本大震災みやぎ子ども育英募金」として被災した子供たちへの支援
		19日	日本航空(株)と県、連携協力協定
		20日	栄地区(C)護岸沈下決壊 復旧工事完了
平成30年度	5月 14日	土井復興副大臣が仙台港で整備を進めている津波漂流物対策事業を視察	
	6月	9日	仙台塩釜港向洋地区ふ頭再編改良事業 着工式
		5日	RORO船「ふじき」初入港(中野3号ふ頭)
	7月	11日	ANAホールディングス(株)と包括連携協定締結
		6日	北海道胆振東部地震
	9月	8日	「みなとオアシス仙台港」登録
		30日	高松2号ふ頭に着脱式の係船柱と防舷材を増設(大型クルーズ船入港に向けた安全対策)
	10月 13日	東北・みやぎ復興マラソン2018(～10月14日)	
	11月	1日	みやぎの復興まちづくりパネル展 in宮城県図書館(～11月15日)
		1日	みなと6号野積場 本供用開始、モータープール 本供用開始
	12月	4日	国際コンテナ定期航路：中国航路 新設
		19日	津波漂流物対策施設設置工事 開始(栄西地区、中野南地区)
	1月	20日	第9回復興加速化会議開催
24日		太平洋フェリー新造船「ニューきたかみ」就航	
平成31年度	4月	1日	震災復興計画「発展期」2年目スタート
		22日	「東日本大震災復興支援令和元年夏巡業 大相撲仙台場所」にあたり浜風親方の知事表敬訪問
		29日	大型客船「セブンシーズ・マリナー」入港(高松2号ふ頭)
令和元年度	6月 7日	宮城県と太平洋セメント(株)包括連携協定締結	
	7月 26日	仙台港区陸間被制御局上屋 新築工事完了	
	8月	9日	大規模災害時における建設発生土の受け入れにかかる情報提供などに関する協定締結
		19日	環境アドバイザー現地検討会開催
	9月	25日	仙台港区防潮堤陸間外その2 工事完了
		10日	復興事業「津波漂流物対策施設」
	10月 30日	国際コンテナ定期航路：中国・韓国航路 増便	
	11月	10日	東名水門(東名運河)水門・陸間自動閉鎖システム 運用開始
		12日	令和元年台風19号の第1次～第8次災害査定開始
		17日	高砂コンテナターミナル 休憩所 竣工
	12月	1日	栄船溜りの愛称「宮城マリンタグボートステーション仙台」に決定
		4日	RORO船「神珠丸」初入港(高松2号ふ頭)
		20日	震災復興・伝承みやぎルートの決定
	1月 18日	第10回復興加速化会議開催	
2月 28日	「3.11東日本大震災伝承板」を仙台港区と松島港区に設置		
3月	5日	高砂コンテナターミナル トラックゲート 新築工事完了	
	23日	向洋地区防潮堤工事完了	
令和2年度	4月 13日	高砂コンテナターミナル トラックゲート運用開始	

施設復旧状況

年度	月日	内 容
平成22年度	3月 11日	14:46 東日本大震災・津波警報発出
	3月 15日	啓開作業：臨港道路の支障物撤去開始
	3月 17日	夢メッセ、アクセルのがれき撤去着手（3月24日終了）
平成23年度	7月 27日	公共土木施設災害査定開始
	8月 23日	仙台港区から流出した海岸漂着コンテナの撤去開始（市町村からの受託）
	9月 5日	高砂コンテナターミナル ガントリークレーン2号機 復旧
	9月 6日	高砂コンテナターミナル ガントリークレーン1号機 復旧
	12月 9日	公共土木施設災害査定終了（第12次）
	12月 22日	高砂ふ頭2号バースコンテナヤード一部舗装復旧完了（L=270m×W=60m）
平成24年度	1月 13日	高砂ふ頭2号バース供用再開(270m)、ガントリークレーン4号機 復旧
	4月 28日	高砂コンテナターミナル ガントリークレーン3号機 復旧
	6月 29日	夢メッセみやぎ 復旧工事完了
	7月 9日	高砂ふ頭船舶給水施設 復旧工事完了
	7月 19日	仙台港区ふ頭5号線 復旧工事完了
	9月 7日	仙台臨海鉄道 完全復旧完了
	9月 26日	仙台港区防波堤 復旧工事完了（国施工分）
	10月 12日	中野ふ頭5号野積場舗装 復旧工事完了
	12月 17日	高松ふ頭舗装 復旧工事完了
	12月 20日	新北防波堤 復旧工事完了（これにより国が施工したものと併せて仙台港区の防波堤は全復旧完了）
	3月 23日	仙台湾南部海岸 完成式
	平成25年度	4月 26日
6月 28日		臨港道路蒲生幹線（仙台市地内路面クラック） 本復旧工事完了
7月 5日		県営中野1号上屋 竣工
8月 26日		臨港道路ふ頭2号線（仙台市地内路面クラック） 本復旧工事完了
8月 27日		中野上屋 復旧工事完了
1月 24日		高松2号ふ頭 埋立工事開始
2月 28日		雷神護岸Ⅰ災害復旧工事 本復旧工事完了
3月 25日		中野地区防潮堤整備 工事開始
平成26年度	4月 25日	仙台港国際ビジネスサポートセンター 災害復旧工事完了
	6月 17日	高砂コンテナヤード拡張工事開始（6ha拡張）
	8月 9日	スリーエム仙台港パーク 供用再開
	9月 30日	スリーエム仙台港パーク 護岸倒壊 復旧工事完了
	10月 1日	臨港道路南海岸線 供用開始
	11月 10日	仙台港背後土地地区画整理事業 竣工式
	3月 20日	高砂船溜り 復旧工事完了 南防波護岸 消波ブロックの流出沈下 本復旧完了
平成27年度	10月 23日	湊浜親水護岸外 災害復旧工事完了
	12月 11日	仙台港区防潮堤（仙台パワーステーション工区、雷神工区、中野6号工区）新規完成
	1月 29日	雷神荷捌地照明設備 設置工事完了
平成28年度	10月 5日	北航路西C護岸沈下 本復旧工事完了
	2月 13日	高砂野積場沈下 本復旧工事完了
平成29年度	7月 31日	臨港道路ふ頭8号線 供用開始
	11月 6日	高砂野積場沈下 復旧工事完了
	12月 15日	高松2号ふ頭 供用開始
	3月 20日	栄地区（C）護岸沈下決壊 復旧工事完了
平成30年度	6月 9日	仙台塩釜港向洋地区ふ頭再編改良事業 着工式
	9月 30日	高松2号ふ頭に着脱式の係船柱と防舷材を増設（大型クルーズ船寄港に向けた安全対策）
	12月 1日	みなと6号野積場 本供用開始、モータープール 本供用開始
令和元年度	12月 19日	津波漂流物対策施設設置工事 開始（栄西地区、中野南地区）
	7月 26日	仙台港区陸開被制御局上屋 新築工事完了
	9月 25日	仙台港区防潮堤陸開外その2 工事完了
	9月 10日	復興事業「津波漂流物対策施設」
	11月 10日	東名水門（東名運河）水門・陸開自動閉鎖システム 運用開始
	11月 12日	R1台風19号の第1次～第8次災害査定開始
	11月 17日	高砂コンテナターミナル 休憩所 竣工
令和2年度	3月 5日	高砂コンテナターミナル トラックゲート 新築工事完了
	3月 23日	向洋地区防潮堤工事完了
	4月 13日	高砂コンテナターミナル トラックゲート運用開始